

先月を振り返って・・・

4月の活動の一部をご紹介します。

1日	会派打合せ・事務所机搬入	17日	海神北一婦人会総会出席
2日	事務所整理	18日	家庭倫理の会講演会
3日	祖父七回忌法要	19日	市役所にて政務調査
4日	習志野自衛隊創立記念式典	20日	船橋青年会議所例会
5日	市役所にて政務調査	21日	議会 総務委員会
6日	アンデルセン公園視察	22日	うすい正人県議事務所開き
7日	議会報告発送作業	23日	ボーイスカウト船橋3団団委員会
8日	海神中学校入学式出席	24日	議会報告配布
9日	西海神小学校入学式出席	25日	海神6丁目東・西青年会
10日	議会報告配布	26日	海浜公園指定管理者選定委
11日	柏グリーンクラブ 20周年式典	27日	勤労市民センター 選定委
12日	総務委員会正副委員長打合せ	28日	学生インターン受入打合せ
13日	事務所電話回線工事	29日	実践倫理宏正会朝起会
14日	議会報告配布	30日	事務所にて書類整理
15日	保育のあり方検討委員会傍聴		
16日	議会報告配布		

今月の駅頭活動スケジュール（原則毎朝6時～9時）

月	火	水	木	金
JR 船橋駅	JR 東船橋駅	海神駅 東海神駅ほか	JR 西船橋駅	JR 津田沼駅

※公務・急用・荒天などにより変更する場合があります。

船橋市議会議員 日色 健人（ひいろ・たけと） プロフィール

1978年船橋市生まれ 31歳 二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200kmを徒歩で踏破（日本人初）。2007年4月の船橋市議会議員選挙において3457票を頂き初当選。現在1期目。総務委員会副委員長・会派「市政会」所属

地域での主な活動：ボーイスカウト船橋第3団団委員・船橋稲門会（早大OB会）幹事、ライオンズクラブ国際協会333-Cレオ地区会長、船橋青年会議所会員、船橋市国際交流協会会員、日本山岳会会員 ほか

趣味：アウトドアスポーツ（山歩き、キャンプ、カヌー）愛読書：ヘンリー・D・ソロー「森の生活」

座右の銘：Where there is a will, there is a way.（意志あるところ必ず道あり）

船橋市議会議員

日色健人（ひいろたけと）31歳の 視点・政策・活動をお伝えします

今号のテーマ

★市中心部に

子育て支援・教育

拠点施設を！

～船橋小・中央保育園建替について



たけと

ひいろ健人

船橋の論点

FUNABASHI AGENDA vol.30

国道沿いに事務所を借りました。街に八百屋や酒屋があるように、政治について立ち寄って話せる場があっていると考えています。皆さんに気軽にお寄りいただけるようにしたいと思います。

発行：ひいろ健人事務所 〒273-0021 船橋市海神6-11-9（移転しました）
 TEL 047-420-1800 FAX 047-420-1801
 E-mail info@taketo2784.net http://www.taketo2784.net（活動ブログ更新中!）

討 議 資 料

★市中心部に子育て支援・教育の拠点施設を！

～船橋小・中央保育園建て替えについて～

去る4月28日（水）、私の所属する会派「市政会」は藤代市長に対して、右のとおり「本町4丁目地区の開発について」と題する要望書を提出しました。

これは、本町4丁目（JR船橋駅から南東部、いわゆる山口横丁の東あたり）に位置する市立船橋小学校および市立中央保育園がいずれも耐震性に問題があるとされ、至急の建て替えが予定されていることが先の3月議会で明らかにされたのを受け、会派で勉強会を重ねた結果として要望をまとめたものです。

以下その要望のうち主要なものをご説明します。

（1）土地の有効利用を！

この場所は、JR・京成船橋駅から徒歩5分余りという極めて恵まれた立地です。また隣接した公園用地や美術館建設予定地も市が所有していることから、道路の付け替え等による土地の再開発や複合施設化、高層化等のさまざまな手法により、土地を最大限有効に活用するよう、まず求めています。

（2）子育て支援・教育の拠点施設に！

上記のような好立地に建設される小学校・保育園であることから、単に現在あるものと同じ内容のものを建設するのではなく、市にとって「子育て・教育のランドマーク」となるような価値ある施設にすべきと考えます。

具体的には、同じく耐震性に問題があるとされている「南本町子育て支援センター」の移設などを提案しています。

（3）保育園の民間委託検討を！

現在、「保育のあり方検討委員会」が設置され、市立保育園の民間委託を含めた今後の市の保育行政の見直しが図られています。この審議結果も踏まえ、中央保育園をはじめとする新施設に民間活力の導入を積極的に図るべきと考えています。

こうしたプロジェクトは、市役所内でも様々な部署に所管が分かれてしまうため、一体的な取り組みを行うのが難しい場合があります。（学校は教育委員会、保育園は子育て支援部、道路は道路部・・・）しかし市民にとっては、貴重な市有財産であり、その有効活用のためには所管を超えて知恵を出し合ってもらわなければなりません。私達も議会の立場から、この問題について今後も議論と提案を行っていきたいと思います。



平成22年4月28日

船橋市長 藤代孝七様

本町4丁目地区の開発について（要望）

我々「市政会」は、同地区開発を今後の船橋市における子育て支援・教育環境の充実を考える上で大きな転換点となる事案と認識し、市政の最重要課題の1つととらえて、平成22年3月定例会中においても勉強会を開催するなど、集中的に研究・検討をしてきた。その結果、今般の事業着手に当たっては、下記事項の実施が不可欠との結論に至ったので、ここに要望する。

市長の強いリーダーシップのもと、本事案が船橋市にとって「子育て・教育のランドマーク」ともいべき市民にとって価値ある施設・地区となるよう、強い期待を持って、関係各位のご高配とご尽力を願うところである。

記

1. 市道14-074号線付け替えのほか、必要に応じて周辺用地を買収して、開発手法により整備し、土地の有効活用を図ること。
2. 隣接する公園用地及び本町4丁目公園、清川記念館建設予定地を含めた、周辺一帯の将来的な整備構想も踏まえたものとする。
3. 市道14-076号線及び14-077号線のセットバックを実施し、歩道の整備等により通学児童の安全確保策を講ずること。
4. 建て替えられる船橋小学校及び中央保育園については、複合施設化・高層化によって土地の有効利用を図り、市民サービスの向上に資するものとする。
5. 上記複合施設には、小学校・保育園のほか、耐震性に問題がある「南本町子育て支援センター」の移設、駅前幼稚園・保育園送迎ステーション設置など、幼稚園・保育園と連携した子育て支援の拠点施設とすること。
6. 新施設の配置・工事に当たっては、船橋小学校の授業・行事にできるだけ影響を与えないよう、配慮すること。特に体育館・グラウンドの確保に留意すること。
7. 新施設における船橋小学校の教室数等については、将来的な学区の再編、市立小中高校の統廃合並びにそれらに基づく児童数予測等を踏まえ、適正なものとする。
8. 新施設における中央保育園については、「保育のあり方検討委員会」の審議も踏まえ、民間委託の可能性を検討すること。
9. 現校舎・園舎の耐震性を考慮し、可及的速やかに事業に着手すること。